

機能

- ・ 最大 8×Rx、4×Tx ARINC 429チャンネル
- ・ 同一カードで、ARINC 429、573、717、CSDBおよび、6線ARINC 561
- ・ 4×双方向アビオニクス・レベル・ディスクリット
- ・ ARINC 429、アビオニクスレベル・ディスクリットおよび、デジタルI/Oの構成が可能
- ・ チャンネル完全独立動作
- ・ Type II PC Card (PCMCIA)
- ・ 簡単に使用可能なBusTools/ARINC Windows用GUIバスアナライザ
- ・ ARINC 615データ・ローダGUIが利用可能
- ・ Microsoft® Windows® 7、8、8.1、10、Vista、VisualBasic、LabWindows/CVIサポート・ハイレベルAPI
- ・ 64Bit、1μsecタイムタグ
- ・ ARINC 615データ・ローダ、ARINC 615 ケーブルが利用可能



Abaco SystemsのRCEI-715Aは、高密度、最大計12までの完全独立ARINC 429/575チャンネル、最大4までの双方向アビオニクス・レベルI/Oディスクリットを提供するインテリジェントなTypeII PC Card(PCMCIA)インターフェイスです。機能は、プログラム可能なデータ速度とパリティ、エラー検知、マルチ・バッファ・モード、タイムタグおよび、自動送信スルー速度調整を含みます。ハードウェア割込みはサポートされていません。

設定オプションは、ARINC 429、ARINC 573/717、CSDBおよび、6線ARINC 561混合のチャンネル選択を含みます。

ソフトウェア

Abacoのソフトウェア・ツールは、ARINCプロトコルとI/Oディスクリットをアプリケーションに統合するのに要求される時間を著しく短縮します。RCEI-715Aには、Microsoft Windows 7、8、8.1、10、XP、Vista、Visual Basicおよび、LabWindows/CVIソフトウェア開発用のハイレベルAPIライブラリが含まれます。AbacoのWindowsベースのGUIソリューション、BusTools/ARINCは、オプションで利用でき、解析、シミュレーション、データロギングが可能です。これは、アビオニクス・データに簡単なインターフェイスを提供します。ARINC 615データローダーとLabVIEWサポートがオプションで利用できます。

アーキテクチャ

RCEI-715Aの柔軟な設計は、単体で複数のアビオニクス・プロトコルをサポートし、統合された、ポータブル・パッケージの強力なハードウェアです。双方向ディスクリットは、アビオニクス・レベル入力へのTTLをサポートします。Abacoの強力なAPIライブラリは、ARINCバス・トラフィックの送受信において、完全な柔軟性を提供します。RCEI-715AのためのAPIサポートは、AbacoのPC/AT、PC/104、PCI、CompactPCIおよびPMCプラットフォーム用のCEI-220/300/420/500/520/600/620/820製品と互換性があります。

ツールとソリューション

BusTools/ARINCは、Windows 7、8、8.1、10、VistaベースARINC 429バス分析・シミュレーション・データ監視ソリューションで、オプションで、ポータブルのRCEI-715AやAbacoのハードウェア製品で利用可能です。

- ・ 複数チャンネルのリアルタイム監視
- ・ hex、バイナリ又はエンジニアリング・ユニット（標準又はユーザ定義）でのタイムタグ・データの表示と入力
- ・ ラベルおよび/または、SDIによる受信データのフィルタ
- ・ ディスクリットの内容とユーザbit-encoded値の閲覧
- ・ 個別ラベルの履歴およびリアルタイム・チャートの表示
- ・ 自動ランプによる複数のサイズ可変メッセージを送るには、BusTools/ARINCを利用
- ・ 複数チャンネルから単一ディスク・ファイルへの全タイムタグ・データをログ
- ・ 送信バス上で記録されたデータを再生

仕様

ARINC 429受信チャンネル

- ・チャンネル数：最大 8
- ・ボーレート：5kHz~200kHz プログラム可能
- ・入力レベル：±6.5~±13VDC (A to B)
- ・パリティ：有効/無効
- ・エラー報告：パリティ
- ・バッファ：チャンネルごとに2048ラベル

ARINC 429送信チャンネル

- ・チャンネル数：最大 4
- ・ボーレート：5kHz~200kHz プログラム可能
- ・自動スルー・レート調整
- ・出力レベル：±10VDC (A to B)
- ・パリティ：奇数、偶数または、無し
- ・バッファ：チャンネルごとに2048ラベル

受信チャンネル・バッファ

- ・チャンネルごとに独立した選択可能な、2048ラベル/チャンネルまたは、マージ・モード・バッファ
- ・各ワードごとに、64Bit、1μsec分解能のタイムタグ

ソフトウェア

- ・API- Windows 7、8、8.1、10、XP、Vista、VisualBasic、LabWindows/CVI用のハイレベルAPIライブラリ
- ・GUI - オプションでBusTools/ARINC GUIバス・アナライザが利用可能
- ・オプション：ARINC 615データ・ローダ
- ・オプション：LabVIEWサポート

物理/環境

- ・ Type II PC Card(PCMCIA 2.1準拠)
- ・ 37-pin D-type受信コネクタへのケーブル付き (RCONCEI-715A)
- ・ 動作温度：0~+40°C
- ・ 拡張温度が可能
- ・ 相対湿度：5~90% (結露無きこと)

ディスクリート入力/出力

- ・ 双方向ライン数：4
- ・ 入力：アビオニクス・レベル (Open/Gndまたは、High/Low)
- ・ 出力：ローサイド・スイッチ、シンク 0.5A

追加プロトコル・サポート

- ・ ARINC 573/717 Bi-Polar RZおよび、Harvard Bi-Phase (Rxおよび、Tx)
- ・ 6線 ARINC 561/568受信 (Rxのみ)
- ・ CSDB (Rxおよび、Tx)

消費電力 (typ.)

- ・ +5VDC、250mA (RCEI-715A-84)

MTBF

- ・ 304,000時間 @+25°C、地上良好環境

注文情報

RCEI-715A-22	ARINC 429 PCMCIA Card、2×Rx、2×Tx、ディスクリート無し、RoHS準拠、RCONCEI-715Aケーブル付属
RCEI-715A-42	ARINC 429 PCMCIA Card、4×Rx、2×Tx、ディスクリート無し、RoHS準拠、RCONCEI-715Aケーブル付属
RCEI-715A-44	ARINC 429 PCMCIA Card、4×Rx、4×Tx、ディスクリート無し、RoHS準拠、RCONCEI-715Aケーブル付属
RCEI-715A-84	ARINC 429 PCMCIA Card、8×Rx、4×Tx、ディスクリート無し、RoHS準拠、RCONCEI-715Aケーブル付属
RCEI-715A-M	ARINC 429 PCMCIA Card、2×Rx、2×Tx、1×Rx 1×Tx ARINC 717 HBP/BPRZまたはCSDB、1×Rx ARINC 561 6線、4×双方向ディスクリート、RoHS準拠、RCONCEI-715Aケーブル付属
BTA-R715A-44	ARINC 429バスアナライザ・バンドル品 (RCEI-715A-44ハードウェアおよび、BT-ARINCソフトウェア)

オプション・ソフトウェア

BusTools/ARINC	BusTools ARINC Windows GUI ソフトウェア (ARINCバス解析、シミュレーション、データロギング)
CEI-DL	Windows用 ARINC 615 データローダソフトウェア
CEI-LV	ARINC 429用LabVIEWサポートソフトウェア